

～ 沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動 ～

草の根ニュース

■住所(東京) :〒150-0042
東京都渋谷区宇田川町19-5 山手マンション1001

■沖縄連絡先 :池宮城紀夫(弁護士)
沖縄県那覇市樋川1-16-38 那覇第1法律事務所

■電話・ファックス :03-3461-5758 090-4175-2010(平山基生)

■メール : kusanone@world.ocn.ne.jp

■ホームページ : http:// www.kusanone.org

■郵便振替口座 : 00190-5-611535 (カンパ随時大歓迎)

憲法実現政党・候補必勝を！

12月16日の全国政治戦と東京都知事政治戦で憲法実現政治へ前進を！

米軍基地をなくして、戦後従属政治を総決算し、真の自主独立日本を！

米国のおしつけ改憲＝『『自主』憲法制定神話』＝自民改憲案にだまされない

米国の為の海外派兵に道を開き、米軍基地を堅持する属国として

戦前の侵略国天皇制日本へ回帰し、「戦争放棄」（憲法第2章）を放棄する

時代錯誤の 自民党による米国おしつけ改憲を くいとめましょう！

米軍＝「戦力」を違憲とする第9条を断固として守りましょう！

オスプレイも、基地も、原発も、TPP も、貧困の元新自由主義政策も、おしつけ改憲も、すべて半占領条約体制が根源。半占領条約を破棄する国民の共同政府をつくりましょう！

全国民が共同・統一戦線を作って立ち上がれば、半占領条約破棄は可能です！

政党選び最大ポイントは、米軍基地撤去

3・11以後初めての全国的政治戦の幕が切って落とされようとしています。同時に、全国的影響を持つ首都東京都で誰を知事にするかの政治戦が始まりました。

政治戦の争点は次の通りです。

第1ーオスプレイ撤去・普天間基地を閉鎖返還し、従属の凝集点米軍基地をなくすために半占領条約を破棄するかどうか

第2ー脱原発かどうか

第3ー消費税値上げに反対し中止させるか

第4ーTPP（環太平洋連携協定）参加阻止か

第5ー憲法9条を守り憲法を実現するか

第6ー社会保障を改悪するか前進させるか

自公民維新は失格です。米軍基地をなくすことを主張している政党は、共産党と社民党です。

米日政府、県民国民の猛反対押切り世界一危険なオスプレイを世界一危険な普天間基地に配備強行、全日本で低空飛行訓練！
何が「安全保障」条約？半占領条約だ！
これこそ、半占領属国条約の実態！
日本人は米国の野生動物以下か！
沖縄県民・日本国民は泣寝入りしない！

封建時代逆戻り、基地堅持・従属・好戦「憲法」—自民改憲案

「国防軍」を創設とは！自民は、また戦争を始める気ですか！

自民党は、「日本国憲法改正草案」を今年2012年4月27日に発表し、12月16日政党選択の政治戦でもそれを掲げています。

【「戦争の放棄」（憲法第2章）を放棄】

自民党憲法改正草案の最大の特徴の一つは、戦争放棄を放棄したことです。つまり日本を戦争しない国から、戦争国家米国をみならって、戦争する国に180度転換させる改憲案です。

現在、憲法第2章の標題は「戦争の放棄」です。自民党改憲案第2章は「安全保障」です。米軍基地提供条約である日米「安全保障」条約の名前を見ればすぐわかるように、米日政府の言う「安全保障」とは米国の支配・占領維持を意味します。私たちが普通思っているような安全保障とは、似ても似つかない全く別のものです。米日政府が「安全保障」という言葉を使うときは、米軍の「占領または半占領」と読み替えれば、真実を理解することができます。

「安全神話」で国民をだましながらか、原発を導入し、3・11の悲惨な大事故を起こしたことを見れば国民騙しの手法は米日政府のいつも使う手であり、これがもたらす悲惨な結果がわかります。国民はこれ以上騙されてはいけません。

【米軍基地はそのままで「国防軍」を保持】

【「自衛権」と称して米国のため戦争をする国に】

自民改憲案は平和憲法から「戦力」不保持の規定を削除しました。これは、米軍は戦力であ

るから日本にその存在は許されないと明快に判決した東京地裁伊達裁判長のような法に忠実な裁判官による「在日米軍は憲法違反」との判決の余地が生まれないようにする為でもあります。

【封建時代へ逆戻りの自民改憲案は「憲法」か？】

自民党が「憲法改正草案」と名づけているこの草案は徹頭徹尾、政府権力が天皇の名の下に上から国民を縛る性格の時代錯誤ものです。

近代憲法は、絶対王政が国民人民を支配し苛斂誅求（かれんちゅうきゅう＝租税などをむごくきびしくとりたてること [広辞苑]）したことに対し、法が、絶対主義王権政府を縛るものとして成立してきたものです。

自民党草案は、「権力を法の支配のもとに置く」こととは正反対であり、明治「憲法」と同様の国民支配思想で貫かれています。国民主権という言葉は名ばかりで、天皇主権あるいは、米日権力主権の、時代錯誤も甚だしい国粹主義で国民をがんじがらめに縛ろうと言う意図が露骨に表れています。草案前文「日本国は天皇を戴く国家」、第1条「天皇は」「日本国の元首」第3条「日本国民は」「日章旗」「君が代」を「尊重しなければならない」。これらは、その意味で「憲法」の名に値しない対米従属の国粹主義の宣言文です。「国際協調」と自民党が言う時それは「対米従属」と読み直すべきです。

【「自主」憲法の名が笑わせる対米従属改憲案】は次号。